

つながる「思い」 ……グランドピアノ寄贈の風景……

本校第24代校長 林雅彦先生のご遺族様より、今年の秋、「お世話になった蟻ヶ崎高校にグランドピアノを寄贈したい」というご厚意を受け、2月18日に音楽室へ無事納品が済みました。実は、林校長先生と私は長いお付き合いで、大学卒業後に高校教員の採用試験に受からなかった私を講師で採用して下さったのが林先生でした。そこから34年、いつも私を応援いただきそしてご縁あって林先生が校長として最後にお勤めになったこの蟻ヶ崎高校に私が着任したのもご縁の繋がりであります。私の赴任直後に先生は残念ながらこの世を去られました。長野県高文連の立ち上げにも大きく関わってくださった立役者でもあり、文化芸術を愛した先生の思いが高文連の今に繋がっていることも事実であります。ご遺族様からのお申し出により「音楽でたくさんの生徒さんが充実した高校生活が送れますように」という先生の思いが「グランドピアノ」という形となって本校につながったこの奇跡に心から感謝いたします。大切に使用させていただき生徒の豊かな心の醸成にぜひ役立てていきます



ピアノたちの大異動：長年使わせていただいているピアノたちの大異動を行いました

音楽室の旧 C7→ 視聴覚室ステージへ。視聴覚室の C5→小体育館ステージへ。小体育館の古いピアノ廃棄。寄贈のピアノ C7 を音楽室へ。各場所で合唱コンクール等の練習で大活躍のピアノたち。今後も大切に使用させていただきます。それにしても運搬業者さんの手際よい連携プレーにびっくりでした！こんな重いものをなんとも見事に!!どうぞ腰をお大事にしてください。(この風景は放送部がドキュメント制作予定です)